

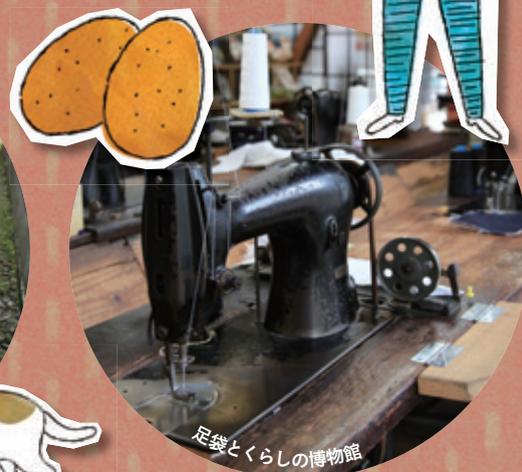
# ぶらって 行田

武蔵野銀行 &  
立教大学観光学部  
まち歩き  
**MAP**  
第3弾



## はじめてに 出会うまち

さきたま古墳。埼玉の“はじまり”の地。  
ゼリーフライ。なつかしくて、でも“はじめて”の味。  
気さくなまちの人たち。人との絆が“はじまる”道。  
蔵の間を抜ける小路で見る“はじめて”の景色。  
—あなたが行田で出会う“はじめて”はなんですか？



忍城・古墳・フライだけじゃない!!  
行田の隠れた  
魅力まで歩いてみる

ぶらって  
行田 まち歩き  
MAP

大通りよりも  
こっちの小道の方が  
お気に入りだにゃ〜

4つに色分けされた  
ルートが見えるね。

アンドリュー🌿の  
ミニジャパコースと

あっちゃん🍷の  
とっておきスポットをめぐるコースは3ページ、

ぼくたち浅田ファミリー🍣のコースと

こまち🐱のおさんぽコースは  
4ページで紹介しているよ!



からくり時計



本手焼  
本丸せんべい

みずしろ通り

蓮華寺 卍

忠次郎蔵  
蕎麦店

忍1丁目

足袋と

商工セ

125

行田市役所

浮き城の径

東照宮 卍

諏訪神社 卍

忍城  
(郷土博物館)

忍城御三階櫓

中央小学校

本丸

忍中学校

コーヒーキャラバン

忍城通

城南

この国道125号沿いの歩道には、銅製の子どもの人形たちが並んでいます。詳しくは6ページにとりあげてあります。



レンタサイクルの貸出・返却場所。詳しくは4ページの家族コースへ

- トイレ
- 市内循環バス
- 路線バス
- 蔵

行田市広域地図



**はにわの館**  
 埼玉県立  
 さきたま史跡の  
 博物館  
 水城公園から  
 自転車で15分



古代蓮会館から見る田んぼアート。

# ぶらって 行田 はじめてに出会うまち 自分だけのまちさがし

行田といえば古墳、忍城、足袋に蔵……

この歴史あるまちも、歩いてみればあなたの思い描いた表情とはまた違った一面も見られるかも。はじめての出会い、あらたな魅力を彼らと一緒に探してみませんか？

## このページの使い方

1~2ページのMAP上に示した4つのコースに沿ってキャラクターがそれぞれのテーマに合わせて歩きます。キャラクターと一緒に歩くもよし、自分だけのお気に入りのコースを見つけるもよし、どう歩くかはあなた次第。

※キャラクターページはストーリー性を持たせるため、まち歩きMAPのルートとは多少異なる点があります。

### 田丸屋

☎行田 15-12 ☎048-554-7771  
🕒11:00~14:00、17:00~20:30  
📅休月

メニューはお蕎麦から定食、おつまみまで品数豊富。笑顔が素敵な奥さんが温かく迎えてくれるよ。まち歩きの休憩に立ち寄ってみては？



### 藍染体験工房「牧禎舎」

☎忍 1-4-11 ☎048-553-5800  
🕒10:00~16:00  
📅休月水金  
藍染体験は予約不要



昭和初期の旧足袋・被服工場と事務所・住宅を改装して2010年にオープンしたばかりの牧禎舎。工房の中は、藍独特のおいでであふれているよ。行田でもここでしかない藍染体験、記念に一枚染めてみては？

### 忍城 (郷土博物館)

☎本丸 17-23 ☎048-554-5911  
🕒9:00~16:30  
📅休月



行田のシンボル忍城！今の御三階櫓は1988年に再建されたもの。隣接する郷土博物館から入れるよ。郷土博物館では、昔の行田の様子が見られるよ。※忍城については5・6ページのコラムで詳しく紹介

### 本手焼 本丸せんべい

☎城西 2-1-15 ☎048-556-6567  
🕒9:30~18:00

昭和50年に創業して以来、ご主人が一枚一枚丹精込めて焼いてきたおせんべい。秘伝のタレを付けて焼いたアツアツのおせんべいはいかが？



### 八幡神社

☎行田 16-23 ☎048-554-5926

焼失と再建を繰り返しながらも、平安時代から続いてきたとされる由緒正しい神社。境内にある金色の「なで桃」を想いを込めながらなでると願いが叶うらしい。



## ミニジャパン発見

日本大好きなアンドリューは、日本のことならなんでもお任せ!? けれど、そんな彼にも行田は初めて見るものであふれ返っていたみたい……。アメリカの留学生・アンドリューが巡るミニジャパン行田。

MAPでは  
👉👈  
を辿って  
みてね



アンドリュー  
18歳、アメリカ出身の留学生。マンガやアニメが大好きで、日本に興味を持った。



### 十万石ふくさや 行田本店

☎行田 20-15 ☎048-556-1285  
🕒8:30~19:00 休なし

和菓子からケーキまで品揃え豊富な老舗のお菓子屋さん。店舗は国登録有形文化財で店名は忍藩の当時の石高が由来。大人気の十万石まんじゅうはお土産にもぴったり。

### 翠玉堂

☎行田 5-7 ☎048-556-2640  
🕒11:00~19:00  
📅休月火水

昭和4年に建てられた町屋が素敵なパン屋さん大変身！個性的でどこか素朴なパンは、ご主人のこだわりが詰まった国産小麦の天然酵母パン。



### 長谷川歩美

20歳、埼玉在住の大学生。音楽とカフェ巡りが趣味。まち歩きMAP「ぶらって羽生」に登場した静香の妹。姉の影響でまち歩きの興味が出てきた。



MAPでは  
👉👈  
を辿って  
みてね

## あっちゃんのタイムトリップ

懐かしの風景を求めて、今日は行田に初上陸。ここにはあっちゃんの生まれるずっと前から続く歴史がいっぱい。まち歩きはまさにタイムトリップ。どんな発見があるのかな？

### イサミスクール工場

☎旭町 4-1 ☎048-555-2255

イサミコーポレーションの工場のひとつ。大正6年~昭和13年にかけて作られた工場や建物が今も残っているよ。中には現在行田にある最も古い足袋工場もあるんだ。カラフルな外観がかわいいね。



### イサミコーポレーション

☎向町 4-31 ☎048-556-5276

明治40年創業。昔は足袋製造業だったけど、今では足袋はもちろん学生服なども生産している歴史ある会社。創業当時の「イサミ足袋」の宣伝の様子は、川端康成の小説にも出ているんだよ。

### 武蔵野銀行 行田支店

☎行田 4-5 ☎048-556-3195  
🕒9:00~15:00 休土日・祝日

装飾や格子窓、丸い羽目板が特徴的な外見。昭和9年に建てられて国の有形文化財にも登録されているんだよ。戦後、足袋会館として利用されていた時に昭和天皇がお見えになったこともあったんだって！



### フォンティーヌ

☎忍 2-18-36 ☎048-554-2059  
🕒9:30~16:30 休土日・祝日

地元の人たちに愛されているCafé。メニューは野菜たっぷりのランチから、ちょっとしたお茶にぴったりのデザートまで……。居心地が良く、つついっ長居しちゃう、そんなCafé。

## 水城公園

📍水城公園1249  
☎048-556-1111

父「ここは昭和39年に忍城のお堀だったところを利用して出来た県内でも歴史ある都市公園なんだよ」  
母「桜もあるし、春にはお花見にもちょうど良さそうね」  
翔「お魚いっぱい釣ったよ!! 今度はもっと大きなお魚を釣ってやるぞ」  
※しのぶ池で釣りが出来ます(釣具持参)



3分



## レストラン ミヨシ

📍行田11-28 ☎048-556-2412  
🕒11:00~20:00 休月

父「商店街の真ん中にある昔ながらの洋食屋といった雰囲気のお店。日替わりランチセットは安くてボリューム満点でおススメ!!(850円~)」



8分



# 行田で家族日和

今日はパパの家族サービスデー。  
パパが、生まれ育った行田のおすすめスポットをママと息子の翔太に紹介しながら自転車で巡ります。  
パパには懐かしい景色も、ママと翔太には新鮮! あなたもレンタサイクルで行田を巡ってみては?

浅田悠  
40歳。父。会社員。行田市出身、埼玉在住。サイクリングが趣味。

浅田翔太  
8歳。息子。小学生。サッカーが得意。

浅田美紗子  
35歳。母。専業主婦。料理が趣味。



MAPでは  
🚲  
を辿ってみてね

15分



## はにわの館

📍埼玉5239-2  
☎048-559-4599  
🕒9:00~16:30(体験受付:9:00~14:30)  
休月(祝日・振替休日は営業)、祝日の翌日(土日にあたる場合は営業)、年末年始

はにわ作り体験  
大人1000円、こども600円(20名以上の団体は要予約)  
翔「好きな形のはにわが作れて、すごく楽しかった」  
母「出来上がりが楽しみな」



## 無料レンタサイクル情報

利用時間:9:00~16:00  
(観光ガイドステーションのみ10:00~16:00)  
問合せ先:行田市商工観光課048-556-1111  
貸出・返却場所

- はにわの館
- 観光ガイドステーション(足袋蔵まちづくりミュージアム内)
- 郷土博物館
- 以下マップ外
- 観光案内所(JR行田駅前)
- 古代蓮の里
- NPO法人さくらメイト事務所



25分



## かどや豆腐店

📍宮本6-6 ☎048-556-3908  
🕒9:00~19:00 休日

父「家族経営しているとてもアットホームな豆腐屋さんだよ」  
母「カレー味のゼリーフライはおかずにもぴったりね。今晚のおかずを買って帰らしよう」  
翔「豆腐ドーナツもおいしかったよ」

3分



1分

## シャロン

📍行田15-15 ☎048-553-2239  
🕒9:00~20:00 休月

母「商店街の裏手にあるパン屋さん。パンもお菓子も品揃え豊富。どれにしようか迷っちゃうわ」  
父「ここはラスクがオススメらしいよ」



10分



3分



## レコードかわしま

📍中央7-16 ☎048-554-0736  
🕒10:00~20:00 休月

見た目がおもしろく中央通りを歩いていれぱすぐ見つかるにゃ。スタイリッシュな入り口、奥行きのある店内はどこか迷い込んでしまったかのよう!レコードからDVDまで品揃えも豊富。掘り出し物に出会えるかも!?

こまち  
1歳。飼い猫。行田在住。いたずら好き

## 猫路

時田蔵の横から忠次郎蔵までの近道。こまちのさんぼには欠かせない場所。とても細い道だけど見つけられるかな?



MAPでは  
🐱  
を辿ってみるにゃー



## 忠次郎蔵 蕎麦店

📍忍1-4-6 ☎048-556-9988  
🕒11:00~14:00 休月

ここはもと足袋原料問屋として大正14年(1910)に建てられ、住宅部分は「半蔵造り」という行田特有の造りらしい。国登録有形文化財でありながら、現在は蕎麦屋さんとして再活用。運が良ければ外からご主人が蕎麦打ちしている様子が見られるにゃ。

7分



## café 閑居

📍行田7-3 ☎048-556-2052  
🕒11:00~16:00 休月、第2・4日

昭和5年に建てられた行田市の初代市長・奥貫賢一氏の邸宅を改装し、現在は「café 閑居」に。和洋折衷という言葉がよく似合い、落ち着いた雰囲気や優雅な時を過ごせるにゃ。

# こまちの大冒険

これがこまちのさんぼコース。ただのさんぼと甘く見るにゃ! 行田には、蔵や古い建物がいっぱい。歴史と照らし合わせると新しい発見がたくさんあるかも。みんなついてくるにゃ~  
※蔵については6ページのコラムへ

1分

## コーヒーキャラバン

📍城西2-1-5 ☎048-554-9975  
🕒10:00~22:00 休木

車好きのご主人の趣味が光る店内はレトロでアンティーク調の落ち着いた雰囲気。ランチにはなんとお寿司もある一風変わった喫茶店。こまちも食べてみたいにゃ!



15分

# たび する 行田

まつり「ふえぶき童子」



こいつり



## 甲斐姫

戦国武将成田氏の娘である甲斐姫は東国随一の美女と言われ、武芸に秀でた姫君でした。忍城攻防戦では、自ら兵を率いて戦い、寄せ手の侵入を阻止したといわれています。

## COLUMN 1

# 古墳と忍城 行田の歴史を知ろう!

ここで少し、行田の昔話をさせてもらいましょうか。行田の誇る旧跡と言えば古墳と忍城！ さきたま古墳群と呼ばれるこの古墳は埼玉県名発祥の地といわれ、とても長い歴史があるの。この古墳群は古墳時代5世紀末から7世紀頃につくられたものだと推定されているの。この古墳群には、有名な「金錯銘鉄剣」<sup>きんさくめいてっけん</sup>が出土した「稲荷山古墳」など9基の大型古墳が残されていて、日本国内で有数の規模を誇っているのよ！ それから忍城。関東七名城の一つとされ、室町時代の文明年間に築城されたの。戦国時代末、豊臣秀吉の関東平定するとき石田三成らによる水攻めにも耐えたことで「浮き城」と呼ばれたわ。この時、私も兵を率いて戦ったのよ！ 行田の人々はこの出来事を誇りに思っていて今でも「時代まつり」\*が行われているわ。みなさん是非古墳や忍城に遊びに来てくださいね。



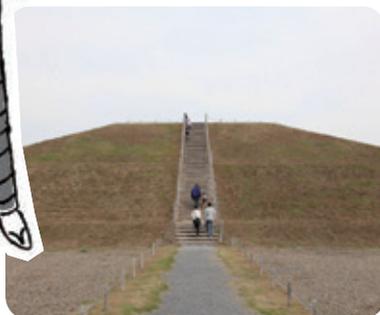
## QUIZ 行田の アレコレ

答えは歩いて自分で  
みつけてみよう!

### QUIZ 1

## 橋!? それとも...

行田は昔から水の豊かなまちでした。忍城があったころは堀がはりめぐらされ水郷とうたわれたそうです。これはそのころの名残のちょっと不思議な光景。気を付けていないと見逃してしまうかも! いったいどこにあるでしょう?



古墳  
稲荷山古墳(5世紀後半)。墳丘の頂上に登ることができる、さきたま古墳群の一つで最初に出現した古墳。



忍城  
通称「忍の浮き城 亀城」15世紀後半に築城。

## 歴史クイズ 行田うんちく

〒370-0001 埼玉県行田市  
〒370-0001 埼玉県行田市

その四、  
行田には忍城や古墳など古い歴史をもった重要な記念物がたくさんあります。それらにちなんだおかしで実際には無いものはどれでしょう?  
い、十方石まんじゅう  
ろ、スイレンサブレ  
は、鉄剣せんべい



古代の種子が偶然出土し、自然発芽したものなのですが、いったいどれくらい昔の種なのでしょう?  
い、三〇〇〜八〇〇年前  
ろ、一〇〇〇年前  
は、一四〇〇〜三〇〇〇年前

\*行田商工祭・忍城時代まつり  
毎年11月に、水攻めを再現した寸劇や火縄銃の演武、武者行列などが行われ、当時の様子が感じられます。

## QUIZ 2

### 銅でできた童たち

国道125号の市役所前から栄橋までの860mに建ち並ぶ童の銅人形たち。平成10年に電線類の地中化整備をしてできた櫓の上に建てられました。ちなみに、女の子の櫓には「雨に濡れてはかわいそう」と屋根がついています。ひとりひとり表情もポーズも違う子どもたちがたくさんいます。お気に入りの子どもと一緒に記念撮影はいかが？さて彼らは全員で何人いるでしょう？



足袋とくらしの博物館  
足袋工場の面影を残した博物館。元足袋職人さんの実演を見学できます。  
☎行田1-2 ☎048-552-1010  
🕒土日 10:00~15:00  
入館料200円(小学生100円)



足袋蔵まちづくりミュージアム  
☎行田5-15 ☎048-552-1010  
🕒毎日(年末年始、夏期休暇中を除く)  
10:00~16:00 入館料無料

立教大学  
観光学部  
准教授  
佐藤大祐

## COLUMN 2

### 足袋と人々の暮らし

行田には古墳時代から人々が形づくってきた文化が、地層のようにぶ厚く積み重なって埋まっています。なかでも「足袋」に代表される繊維産業は行田の代名詞的存在です。行田周辺では江戸時代後期から綿花が栽培され、これを使って下級武士などが内職して中山道の旅人や江戸に出荷されたことが、足袋製造の始まりと考えられています。明治に入ると、石油発動機や電力でミシンを動かし、足袋が大量生産されるようになりました。行田は昭和初期に足袋製造で全国一の規模を誇るまでになったのです。まちあるきの際に見られる行田の蔵は、製造した足袋を保管するためのものであり、私たちはまさに日本の産業革命の一端を垣間見ることができるのです。足袋産業が華やかかりし頃に足袋工場働く女工さんのおやつだったフライ(クレープのようなもの)や、ゼリーフライ(衣がついていないコロッケのようなもの)を食べながら、行田文化を発掘してみたいかがでしょうか。



## 猫のはやさで!

足袋とくらしの博物館から忠次郎蔵までは猫路小路♪ いったい何分で着くのでしょうか??

## QUIZ 3



## QUIZ 4

### 行田市内に蒸気機関車!?

市役所の近くにはSLがあります。この展示されているSLは鉄道ファンの間で「シゴナナ」の愛称で親しまれているのですが…何系か数字はよめましたか?

## QUIZ 5

### ちょっと一息

歩きつかれたらここで喉をうるおして。このかわいいペリカンは水飲み場になっているんです。あなたはいくつ出会えるかしら?

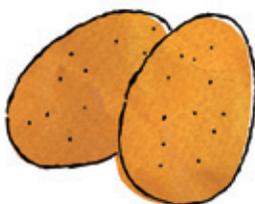


その三、  
行田市のシンボルにもなっている古代蓮。行田の蓮は六月中旬から八月中旬に咲きます。これは

その二、  
い、約八割  
ろ、約七割  
は、約六割

その一、  
行田は日本一の足袋の町と言われていましたが、最盛期の昭和三年には、全国シェアの約何割を占めていたのでしょうか?

その二、



行田の味といえば「ゼリーフライ」。ちょっと変わった名前ですが、由来は何?  
い、形が小銭に似ているから。  
ろ、ゼリーのような食感だから。  
は、ゼリーという野菜を使っているから。

その一、

三折から  
選んでニヤァ!





## 埼玉 地域交流フットパスプロジェクト

埼玉 地域交流フットパスプロジェクトは、埼玉県の武蔵野銀行と、新座市にキャンパスを置く立教大学観光学部が埼玉県の地域活性化を目的として、平成19年7月に締結した産学連携協定によって発足しました。

本プロジェクトでは、立教大学観光学部の学生が中心となり、武蔵野銀行の支援と地元の協力のもと、埼玉県東部のJR線、東武鉄道、秩父鉄道の沿線から比較的历史のあるまちを選定して、調査をし、多世代にわたる人々が観光交流を通じて充実した生活を送ることができる新しい楽しみ方を創造する事業を行っています。



### 第1弾 ぶらって 幸手



## ぶらってシリーズ

平成20年度から始まったぶらってシリーズ。地域の魅力を多くの人たちに伝えたいと、何度も調査や議論を重ね、学生が感じたその地域の魅力を取り入れた小冊子を作製してきました。

第1弾「ぶらって幸手」では、歴史・美と食・家族のテーマにそった3冊のまちあるきMAPを作製し、第2弾「ぶらって羽生」では、「あなた色に染まるまち」というコンセプトで懐かしさあふれる羽生の魅力を1冊の冊子にまとめました。第3弾となる今回は、「はじめてに出会うまち」というコンセプトのもと、この「ぶらって行田」を作製しました。行田を何度も歩いて調査する中で、私たちはたくさんの「はじめて」に出会いました。まち歩きの一歩である自分なりの発見を多くの人にほしいという期待を込めて、私たちの出会った「はじめて」とともに行田の魅力を取めました。

### 第2弾 ぶらって 羽生

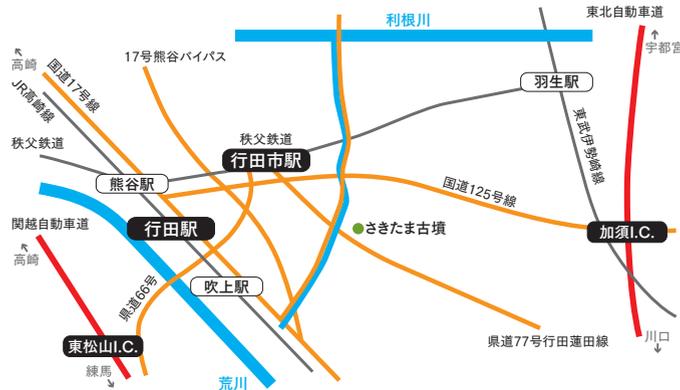


### 第3弾 ぶらって 行田



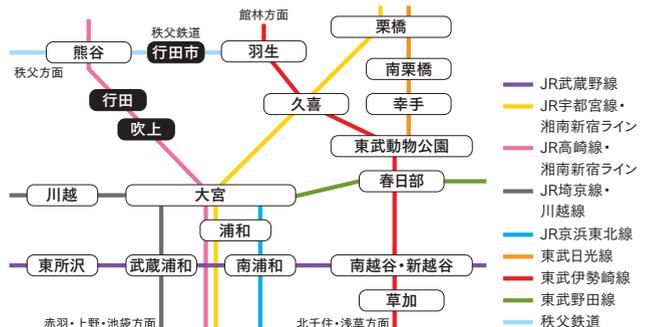
#### 〈車でのアクセス〉

東北自動車道:加須I.Cから国道125号経由で約30分。  
関越自動車道:東松山I.Cから鴻巣市吹上経由で約30分。



#### 〈電車でのアクセス〉

秩父鉄道「行田市駅」  
JR高崎線をご利用いただき、「熊谷」にて秩父鉄道線(羽生方面)にお乗り換えください。  
JR高崎線「行田駅」より市内循環バス利用で20分。  
JR高崎線「吹上駅」より路線バス利用で15分。



ぶらって行田

武蔵野銀行、立教大学観光学部産学連携事業「埼玉 地域交流フットパスプロジェクト」  
まち歩きMAP はじめてに出会うまち  
初版2011年1月

問い合わせ 立教大学リサーチ・イニシアティブセンター(新座)  
TEL048-471-6790 FAX048-471-6677

制作:武蔵野銀行・立教大学観光学部 協力:行田市・行田商工会議所・埼玉県  
編集:中村正人編集事務所 デザイン:望月昭秀+木村由香利(NILSON) 写真:佐藤憲一  
イラスト:あやば 印刷:望月印刷株式会社



この印刷物は環境にやさしい「大豆油インキ」を使用しています。